



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月12日  
東

上場会社名 ランサーズ株式会社

上場取引所

コード番号 4484

URL <https://www.lancers.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO

(氏名) 秋好 陽介

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 兼 コーポレート本部長

(氏名) 安川 久美子

(TEL) 03(5774) 6086

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	3,925	15.2	111	35.4	115	36.9	84	28.2
2025年3月期第3四半期	3,407	1.3	82	90.0	84	79.7	65	834.3

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 84百万円(28.2%) 2025年3月期第3四半期 65百万円(834.3%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2026年3月期第3四半期	5	18	4	81
2025年3月期第3四半期	4	04	3	78

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	3,694	1,453	39.1
2025年3月期	3,280	1,358	41.4

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 1,442百万円 2025年3月期 1,358百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	0.00	—		
2026年3月期(予想)				2.0	2.0

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

		売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
		百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期		5,048	10.0	200	83.2	209	81.1	200	13.1	12.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有  
 新規 2社 (社名) ランサーズ・ストラテジック・コンサルティング株式会社、株式会社ワンズパワー 除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	16,245,228株	2025年3月期	16,245,228株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	37株	2025年3月期	37株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	16,245,191株	2025年3月期3Q	16,245,191株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
 監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社が約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境が改善するなかで景気回復の兆しがみられた一方、海外での紛争や円安・物価高により金融市場の見通しは未だ不透明な状況が続いております。当社グループが事業を展開するインターネット関連市場においては、生成AIをはじめとする技術革新が加速するなか、企業の人材活用の形も大きく変化しております。

昨今では、AIの急速な普及に伴い、企業は経営モデル・ビジネスモデル・業務プロセスなどを抜本的に見直しはじめており、これに対応するAX（AIトランスフォーメーション）のニーズは一層高まっております。一方、AI時代に対応可能な高度なデジタルスキルを有する人材の不足は引き続き深刻な課題であり、個人においては、自らのスキルを見直し、AIやデジタル技術に対応した知識や能力を習得するリスキリングへの取り組みが一層求められております。

このような環境において、当社グループは「個のエンパワーメント」をミッション、「人と経済の可能性を、テクノロジーで解き放つ」をビジョンに掲げ、企業に対してはAX/DXの統合ソリューションを、個人に対しては、仕事のマッチングプラットフォームとともに、AI時代に対応するためのリスキリング機会の提供をしております。

当社グループは、主力のプラットフォーム事業に登録されている300万人を超える人材を、AI時代に対応可能な高度人材、すなわち「AI人材」として事業の核に据えております。このAI人材基盤を軸に、より上流の経営戦略策定やAX開発支援を担う事業を強化することで、企業のAXを一気通貫で支援する体制の強化を推進しております。当期においては、「AX人材基盤の強化」「AIプロダクトの強化」「AXコンサル機能の強化」の3つの重点方針を掲げ、提供価値の向上に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間においては、当社が抱えるAI人材と企業のマッチングを効率化する取り組みとして、AIを活用したスキルの可視化、マッチングの自動化、検索性の向上等を推進いたしました。また、2025年5月に新設した戦略コンサルティングファーム「ランサーズ・ストラテジック・コンサルティング株式会社」においては、コンサルタント採用が当期計画の90%に達するなど順調に推移しております。正社員コンサルタントと当社サービスに登録するフリーランス・コンサルタントのチーム体制により、顧客の経営課題に応じた柔軟性の高い提案が可能になったことで、案件の受注拡大に繋がりました。さらに、同年8月にグループ化した株式会社ワンズパワーのPMI（Post Merger Integration）も順調に進捗しております。同社の主要クライアントへの深耕営業を強化した結果、グループ化後の売上高は安定的に拡大し、グループ全体の収益基盤強化に寄与いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は3,925,930千円（前年同期比15.2%増）となり、営業利益は111,349千円（前年同期比35.4%増）、経常利益は115,503千円（前年同期比36.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は84,165千円（前年同期比28.2%増）となりました。なお、当社グループはプラットフォーム事業の単一セグメントのため、セグメントごとの記載はしておりません。

## (2) 財政状態に関する説明

### 財政状態の分析

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末と比較して413,535千円増加し、3,694,268千円となりました。これは主に、流動資産において現金及び預金が387,223千円増加、売掛金が101,873千円増加、無形固定資産においてソフトウェアが77,214千円減少したこと等によるものです。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債につきましては、前連結会計年度末と比較して318,481千円増加し、2,240,696千円となりました。これは主に、流動負債において買掛金が69,883千円増加、1年内返済予定の長期借入金が47,988千円増加、固定負債において長期借入金が170,868千円増加したこと等によるものです。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して95,053千円増加し、1,453,571千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が84,165千円増加したこと等によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月14日に公表した内容から変更はありません。なお、当該業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,727,032	2,114,256
売掛金	433,652	535,525
仕掛品	2,468	4,372
前払費用	24,204	29,656
未収入金	260,515	215,249
その他	57,829	35,638
貸倒引当金	△14,185	△6,281
流動資産合計	2,491,517	2,928,418
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,212	1,285
工具、器具及び備品（純額）	284	5,203
有形固定資産合計	1,497	6,489
無形固定資産		
ソフトウェア	286,895	209,681
ソフトウェア仮勘定	19,553	23,897
のれん	310,856	345,588
その他	310	276
無形固定資産合計	617,616	579,445
投資その他の資産		
敷金及び保証金	30,768	34,866
繰延税金資産	139,333	145,048
その他	0	0
投資その他の資産合計	170,101	179,915
固定資産合計	789,215	765,849
資産合計	3,280,733	3,694,268

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	245,120	315,003
短期借入金	—	39,996
1年内返済予定の長期借入金	67,080	115,068
未払金	330,378	278,263
未払費用	91,418	121,596
未払法人税等	173	19,193
未払消費税等	29,469	50,159
預り金	566,661	544,344
賞与引当金	58,180	45,138
役員賞与引当金	—	4,132
その他	8,121	10,721
流動負債合計	1,396,604	1,543,618
固定負債		
新株予約権付社債	300,000	300,000
長期借入金	225,610	396,478
資産除去債務	—	600
固定負債合計	525,610	697,078
負債合計	1,922,214	2,240,696
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	55,000	55,000
資本剰余金	1,239,788	1,239,788
利益剰余金	63,729	147,894
自己株式	△36	△36
株主資本合計	1,358,481	1,442,647
新株予約権	36	10,924
純資産合計	1,358,518	1,453,571
負債純資産合計	3,280,733	3,694,268

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	3,407,059	3,925,930
売上原価	1,872,768	2,367,335
売上総利益	1,534,290	1,558,594
販売費及び一般管理費	1,452,073	1,447,245
営業利益	82,217	111,349
営業外収益		
受取利息	243	1,927
営業債務消滅益	4,454	5,956
その他	820	2,374
営業外収益合計	5,519	10,258
営業外費用		
支払利息	3,110	5,091
その他	280	1,011
営業外費用合計	3,390	6,103
経常利益	84,345	115,503
特別損失		
減損損失	—	24,577
特別損失合計	—	24,577
税金等調整前四半期純利益	84,345	90,926
法人税、住民税及び事業税	532	5,195
法人税等調整額	18,162	1,565
法人税等合計	18,694	6,760
四半期純利益	65,650	84,165
親会社株主に帰属する四半期純利益	65,650	84,165



四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	65,650	84,165
四半期包括利益	65,650	84,165
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	65,650	84,165

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当社グループは、プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	83,751千円	82,969千円
のれんの償却額	36,030千円	39,106千円

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2026年2月12日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議いたしました。

## 1. 自己株式の取得を行う理由

現在の当社株価水準が将来の業績見通しや当社の事業成長性が織り込まれておらず、潜在的な企業価値に対し極めて割安な水準にあると認識しております。つきましては、株主価値向上に向けた株主還元の拡充と資本効率の向上を図るため、自己株式の取得を決定いたしました。なお、取得した株式については、機動的なM&Aの対価としての活用や、高度人材へのインセンティブ付与といった将来の成長投資に充当することで、中長期的な企業価値のさらなる向上を目指してまいります。

## 2. 取得に係る事項の内容

(1) 取得対象株式の種類 : 当社普通株式

(2) 取得し得る株式の総数 : 357,000株 (上限)

発行済株式総数 (自己株式を除く) に対する割合2.2%

(3) 株式の取得価額の総額 : 100,000,000円 (上限)

(4) 取得期間 : 2026年2月13日から2026年5月31日まで

(5) 取得方法 : 東京証券取引所における市場買付

(ご参考) 2025年12月31日時点の自己株式の保有状況

発行済株式総数 (自己株式を除く) 16,245,191株

自己株式数 37株